



御成門だより

令和2年7月1日 発行

第 4 号

発行責任者

港区立御成門中学校

校長 佐藤 太

教育目標

「豊かな心とたくましい体をもつ生徒」「自ら計画し進んで学習する生徒」「他人の立場を尊重し仲良く協力できる生徒」

〒105-0003 港区西新橋3-25-30 電話 03-3436-3551 FAX03-3436-3552 E-Mail onarimon-js@minato-tyky.ed.jp

『こうでありたい』と、強く願う

校長 佐藤 太

1ヶ月の分散登校のあとに迎えた7月。季節は初夏になりました。7月からは、学校生活の新バージョンのルールのもと、全学年がクラス単位で授業を受ける生活が始まります。

通常登校に戻るまでの3ヶ月間を振り返ると、私自身、新しく気づくことや、別な角度から見てみることなど、色々と自問自答することがありました。過ぎた時間が戻る訳でも、状況が魔法のように急変する訳もなく、心をコントロールすることは難しいとも感じました。予定通りに成らずにくすぶったり、失った物が心の中でグルグル回って抜け出せないでいた時もありましたが、いつの時からか「今あるここから、前を見て頑張りたい」と思うようになりました。

不要な外出ができないことで、自然と家で昔のドラマや映画(下の表の作品)を懐かしく観る機会も増えました。批判を恐れずに書くと、様々な人生模様や青春時代が描かれた作品を多く観ましたが、以前に観た時には見えていなかったことが見えてきたり、年代を超えて大切なものを感じ取れたりと思ふ不思議な感じでした。

<日本ドラマ>

とんび (小説家・重松清)

流星ワゴン (小説家・重松清)

希望ヶ丘の人々 (小説家・重松清)

仰げば尊し (小説家・石川高子、脚本・いずみ吉紘)

ルーキーズ (漫画家・森田まさのり、脚本・いずみ吉紘)

ドラマ・GTO1998年 (漫画家・藤沢とおる)

ビー・バップ・ハイスクール2004 (漫画家・きうちかずひろ)

ドラマ・チア☆ダン (小説家・円山夢久)

J I N (漫画家・村上もとか)

世界の中心で、愛をさけぶ (小説家・片山恭一)

オレンジデイズ (脚本家・北川悦史子)

グランメゾン東京 (脚本家・黒岩勉)

<日本映画>

羊と鋼の森 (小説家・宮下奈都)

青天の霹靂 (小説家・丸ノ口・劇団ひとり)

カラスの親指 (小説家・道尾秀介)

鍵泥棒のメソッド (脚本家・内田けんじ)

サバイバルファミリー (脚本家・矢口史晴)

信長協奏曲 (漫画家・石井あゆみ)

空海 (脚本家・佐藤純彌)

禅 (小説家・仏教学者・大谷哲夫)

源氏物語 (小説家・早坂暁)

高速参勤交代 (小説家・[土橋章宏](#))

関ヶ原 (脚本家・原田真人)

桜田門外の変 (脚本家・佐藤純彌)

さて、皆さんは、10年先、どのような自分でいたいのでしょうか。結果として、10年先の自分が、今思い描いているようになってなかったとしても、それは大きな問題ではないように私には思えます。しかし、自分は“『こうでありたい』と強く願う”心の強さは、持ち続けてほしいと思います。そして、それを実行する力。簡単なことばかりではないのですが、どんな時にも希望があり、明確なゴールの輪郭は描けなくても、自分のペースで前を向いて進むことが大事です。そのためにも、今この時を生きる皆さんには、毎日を元気に過ごす心の張りや、目標をもって生活をしてほしいと思います。

今日から、御成門中生285人全員が、同じスタートラインに立って進み出します。7月は、専門委員会や1年生の部活動体験も始まり、後半は期末テストです。若い皆さんは、これから沢山のこと(夢中になれることや楽しいこと、時には厳しいことも)に出会いますが、自分の未来に向かって前に進んでください。

保護者・地域の皆様には、分散登校期間、ご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。7月もご自宅での健康観察や水筒持参のご協力などは続きますが、どうぞ、よろしくお願ひいたします。

【学校生活が再開されました】

6月1日の入学式の開催に続き、分散登校ではありませんが、少しずつ学校生活が戻ってきました。保護者の皆様のご理解・ご協力、地域の皆様のご支援をたくさんいただきました。ありがとうございます。以下に再開後の本校生徒たちが活躍している姿を紹介します。

【入学式(6月1日)】待ちに待った日が来ました。ご来賓の皆様にはいらしていただくことはできませんでしたが、たくさんの保護者の方々に参列していただきました。



校長式辞



在校生代表歓迎の言葉



間隔を広げた座席配置



式終了後の学級活動

【対面式(6月3日)】上級生代表生徒から学校生活・行事、生徒会活動等についての説明を聞きました。



【分散登校での授業再開】広い特別教室を使用したり、1クラスを2分割したりして、密を避けて授業をしました。



6/20 保護者会では、多くの保護者の皆様にご来校いただきました。ありがとうございました。

【給食開始】6月2週目から容器に入れた給食を、3週目からは適切な栄養摂取を確保する中で可能な限り少ない献立で実施しました。



【昼休みや放課後の活動】昼休みには図書室や校庭の開放を再開しました。また、部活動も再開しました。1年生は、7月1日から仮入部を開始しました。



【転入職員挨拶(紙面の都合で分割掲載となりました)】

○阿部 俊幸[副校長](港区立赤坂中学校より)

私は、昨年11月9日の本校開校50周年記念式典に前任校の校長代理として参加させていただきました。式典での整然とした立ち居振る舞い、のびやかな声での合唱、迫力のボディパフォーマンス、代表生徒の立派な挨拶や明瞭なプレゼンテーションを見て、とても素敵な生徒達・教職員集団だなと感じたことをよく覚えています。縁あって、4月よりこの素晴らしい御成門中学校で働く機会をいただきました。新型コロナウイルスの影響で大変変則的な学校生活となっていますが、御成門中の生徒達の素敵な姿を見ることができ、たいへん嬉しく思います。

少し話は変わってしまいますが、「子どもが生まれてくるから、社会や人類が進歩する。子どもが成長することで、今の大人を超えて新しい社会の担い手となる。」という話を聞いたことがあります。人生100年時代となり、中学生の皆さんにはこれから輝けるたくさんの時間が待っています。先が見えにくい時代だからこそ、自分が将来なりたい姿や理想の社会の形を、皆さんの若くて柔軟な思考で思い描いてみてください。若い皆さんに期待しています。いつの日か、今過ごす時間が御成門中生徒一人一人にとってプラスとなることを願っています。

